

辺野古新基地

米大統領に

ごり押しを誓約



政府は「沖縄の負担軽減」という一方、名護市
辺野古への米軍新基地建設を強行しています。



民意を踏みにじらないで

石破首相は2月7日の日米首脳会談で、国連憲章と国際法に反するトランプ米大統領の横暴な振る舞いに一切抗議することなく、さらなる日米軍事同盟強化と大軍拡を推し進める約束をしてきました。ここでは、米兵の性犯罪が繰り返され、しかも隠

蔽されてきた沖縄の現実と、米軍基地縮小と日米地位協定改定を求める県民の声には一切触れず、辺野古の米軍新基地建設を推進する立場を改めて表明しました。沖縄県知事選挙や県民投票で示された、基地建設反対の民意を踏みにじるものです。

巨大基地でなく外交でこそ



政府は、沖縄県知事の権限を奪う「代執行」という前代未聞の方法で基地建設を強行してきました。建設予定地の大浦湾では地盤改良工事が着手されています。しかし水深90mに及ぶ軟弱地盤を改良できる見込みはありません。

数兆円もの血税を注いで造ろうとしているのは、巨大な軍事要塞です。この計画は、環境を破壊し、民主主義と地方自治、そして平和も壊すものです。米軍の戦略に従う巨大な基地建設ではなく、外交でこそ平和を築くべきです。



辺野古新基地建設工事の中止と
普天間基地撤去を求める署名にあなたも！

日本平和委員会 2025年2月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中
<http://j-peace.org/> (t) (f)

